

性の多様性を考える 講演とディスカッション

LGBTIの「私」が命を懸ける理由
～南アフリカの活動家が来日します!～

「人権」と「平等」を考える一つのきっかけとして、そして差別に関する法律の改正、被差別者のサポートや支援について考えるために、南アフリカの活動家、ファドツアイ・ミュパルツァさんをお招きして講演会を企画します。「人権」も「平等」も福沢諭吉が学問の基盤としたものであり、教育の土台となるべき概念です。その意味をともに考えてみませんか。

入場無料
申込不要

2015年10月19日(月)

18:15～19:45 (1時間講演、その後ディスカッションの予定)

慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎 シンポジウムスペース



ゲスト

Fadzai Muparutsa
(ファドツアイ・ミュパルツァ)さん

1979年ジンバブエ生まれ。2002年からLGBTI問題に取り組む。2013年からは南アフリカでアフリカ・レスビアン連合のアドボカシーとして活動中。

©Pete Muller



※講演には通訳がつきます

主催:慶應塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会(HAPP) 企画:横山千晶(法学部)
協力:公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 (www.amnesty.or.jp)
問い合わせ先:(E-mail) hy-happ@adst.keio.ac.jp